

# 茨城NPO情報

## MONTHLY COMMONS

### 茨城のNPO活動を応援する月刊情報紙

1...巻頭コラム・NPOのひとびと・トピックス  
2...NPO一日体験・情報掲示板・五軒町だより

編集/発行

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・commons  
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町2丁目2番23号102

☎029-300-4321 FAX 029-300-4320

URL <http://www.npocommons.org>

E-mail [info@npocommons.org](mailto:info@npocommons.org)

第11号

2003.09

#### NPOの現場回ります

コ  
ラ  
ム

先日、コモンズの2003年度総会が台風のなか開催された。

99年度から始まったコモンズは今年で5年目。NPO法も、来る12月1日で施行5周年だ。県内のNPO法人数も160を超え、5年前に比べると随分社会に定着してきた。特に行政、学校、企業などでNPOとの連携や協力を模索する動きが増えている。▶コモンズはNPOの個別支援、法制度や活動環境の改善、企業や行政との協働の推進を目指してきた。5年前、NPOとNPO法の普及からスタートした頃は、フォーラム会場などで、何のメリットがあるのか、日本に定着するのか、といった疑問がよく寄せられた。▶次第に、地域にNPOが増えてくると、組織運営や各種手続きに関する問い合わせが増え、研修事業が本格化した。各団体は行政からの委託事業に取り組むようになり、コモンズの事業規模も拡大した。有給職員を抱えたNPOでは、事業と運動の両立という課題に直面するようになった。運動面で大きな目標であるNPO支援税制は、2000年と2002年に国会議員と共に制度を変えてきたが、認定NPOの壁は厚い。NPOを担う人づくりへ、学生インターンに続き、求職者向けの職業訓練の卒業生が今後、NPOアドバイザーとして各団体のサポートにあたる。▶今年はNPOの現場を回りながら、しっかり情報、経理面などをサポートしつつ、各団体の声を集めて、融資や物品仲介など、NPO全体に必要な制度や仕組みを実現していきたい。

(文 横田 能洋)

勤労者マルチライフ支援事業  
勤労者ぼらんていあ・ねっと  
<http://www.volunteer-net.jp>

余暇や退職後の時間を活用して、ボランティア活動を始めませんか。コモンズは、あなたの社会貢献活動を応援しています!

「セカンドライフ」の充実を!

# 村に隠れた知に生きよ



地域にはたくさんの“宝物”が埋もれている。自然、技術、文化など。その宝物を捨てて、貨幣経済一辺倒に進んでいることが社会の乱れの原因だと、岩手県沢内村のNPO法人「西和賀文化遺産伝承協会」事務局長の廣瀬龍一さん(62)は考える。

#### 村に入った理由

N  
P  
O  
の  
ひ  
と  
び  
と

濃密な人間関係が嫌で村を捨てる人々がいる一方で、村へ、喜びつつ入ってゆく人々もいる。「個の時代」と言われる中で、流れに逆行するような人々の意識や衝動を、どうくればよいのだろう。廣瀬さんは約10年前に大手建設会社を脱サラし、単身で、同村に移住した。

廣瀬さんが同村に入った理由は、企業間の競争に疲れたわけではなく、都会の暮らしに嫌気が差したわけでもない。東京生まれで、仙台にある東北大学で学生時代を過ごしたので、東北への縁は確かにあった。リゾート地の開発の仕事などを通じて、心の中で理想郷のイメージを膨らませていたこともある。

理由はこうだ。偶然、仕事の上で訪れた沢内村の人々との触れ合いがこの

#### 岩手県のNPO法人 西和賀文化遺産伝承協会 廣瀬龍一さん

ほか心地よかった。

そして村の共同体の知恵の奥深さに、「昔の人の暮らしは本物だ」と直感した。すぐに転住を決めた。キャリアや安定した暮らしへの未練は特になかった。

#### 結の底流を流れるもの

廣瀬さんの、一番目の宝物は、今もそれとなく残る、村のルール・結(同村周辺では「ゆいっこ」と言う)。「ゆいっこ」は、農作業や屋根の葺き替えの共同作業などの約束事だが、廣瀬さんに言わせると、「村で生きる者は、他の家の者であっても、家族同然と考える意識」のこと。

そして、「ゆいっこ」の背後の、村の人々の意識の底流にある、自然や神のなへの敬虔さが日々、廣瀬さんを驚かせる。

自然に依存して生きる人々の、農作業のけじめや盆正月に行う伝統行事などは、祖先の残した遺産であり、言わばこの地で生きるための“経典”。村のお年寄りたちの姿には、住んでいる自然環境と波長を同じくする意識が息づいている。

「見かけの快適さを求めて、村の決まりやしきたりを逃れていった人たちは、今あちこちで矛盾に突き当たっているのではないかと廣瀬さんは話す。

#### 宝物探しのツール

宝物探しは、そうした古くからの知恵と接触するツールとなる。そのひとつ

が「地元学」。地域の宝物を発見するには、「地元の案内人(お年寄り)」、「よそ者(数人)」、「地域の地図」、「カメラ」があればよい。

案内人に自分の日常のテリトリーを歩いてもらう。よそ者が珍しい事物を発見したら、写真を撮影し、地図に記録し、案内人のコメントを載せると「資源カード」が出来上がる。

地元の人が見慣れている事物のよさを、よそ者が見出し、地元の人たちが再認識する、というのが基本の構図だ。

地元のお年寄りが『こっだな(こんな)ものを』とするものを、よそ者は「なんて素晴らしいんだ」と発見する。どんな所でもいろんな宝物が見つかる。

この作業を通じて、「地域に会話が生まれ、自然に元気になる」。

「祖先からの知恵を生かし、自然と共生する生き方は、人間の生きる基層だ」と廣瀬さんは話す。それが、社会の乱れを食い止める役目をする。川にたとえるなら上流域と下流域。村に現存するさまざまな文化が消えてしまえば、都市の社会や経済は混乱する。

村での宝探しを通じて、自然と共生する自分や、暮らしの底を流れる豊かさに、再び出合えるかも知れない。

(文と写真 佐竹 明)

NPO法人「西和賀文化遺産伝承協会」

岩手県和賀郡沢内村長瀬野25 <http://www.seibunkyo.org>

#### TOPICS

NPO・企業・行政の連携と協働事業を実現するため、コモンズ・県経営者協会・大好きいばらき県民会議が共催するフォーラムが、今年9月26日(金)に県産業会館で開かれる。

午前中は、講演会「宮城・仙台における企業とNPOの連携・協働の仕組みについて」。宮城では、企業が不要になった事務機器やパソコンをNPOに寄贈するサポート資源提供システムが立ち上がり、今年から資金助成も加わるなど、民が民をサポート

する仕組みづくりが進んでいる。午後は、4テーマに分かれ、茨城における協働の可能性を討議する。第1分科会「地域福祉」は、市民の地域福祉

#### 26日にNPO・企業・行政協働実現のための交流フォーラム

ニーズ調査を踏まえた政策提案、福祉サービス提供のコンビニ化、福祉作業所の仕事開拓、地域福祉巡回シンポなどについて提案がなされる。第2分科会「子育て子育て」は、中心市街地で

の子育て支援拠点の開設、次世代育成支援法に対応した企業体制の整備などが話し合われる。

第3分科会「里山保全」は里山保全活動への地元住民や企業従業員の参加促進策を検討する。

第4分科会「NPO支援」は、中間支援組織からみた地域のNPOの現状と課題、中古物品仲介や融資システム、税制優遇、茨城NPO連絡会の設立準備などを話し合う。連携と協働に関心のある方は是非、ご参加を。

### ろうきんがNPO向け 融資利用を呼びかけ中

中央労働金庫は、昨年からスタートさせたNPO法人向け融資「ろうきんNPO事業サポートローン」の利用を呼び掛けている。

融資対象となるのは、①法人格取得前の任意団体期間も含めて事業活動が3年以上継続②主たる事業所が「中央ろうきん」の営業エリア内に所在③資金用途が明確ーなど。

用途は、「介護報酬給付までの必要な事業経費の支払い用」「委託金交付までに必要な事業経費の支払い用」「事業の伸張に伴う増加運転資金」「納税資金」などの運転資金や、

「事務機器の購入資金」「業務用車両の購入資金」「事務所や作業所の取得資金」などの設備資金。

融資額は、無担保が500万円以内、有担保が5千万円以内。金利は年2・125～3・575。保証は個人保証3人以上。

昨年のスタート以降、県内のNPOによる問い合わせはほとんどなく、まだ成約もない。茨城地区本部・営業推進グループの菊池誠次席調査役は、「非営利、協同のパートナーシップを築き、社会の生活・福祉の課題を共に解決してゆきたい。ぜひご利用を」と話している。

問い合わせ・申し込みは、中央労働金庫(☎03・3293・2048)へ。(本紙は、同ローン情報をシリーズで提供してゆく予定です)

### ◆◆イベント案内◆◆

#### ■「地域たすけあい in 茨城」参加者募集

「さわやか福祉財団が、各地で実施している研修会で、本県では初開催。地域での「助け合い・支え合い」活動を行う、ふれあいボランティアの掘り起こしのための研修会。午前は講演会、午後は分科会を行います」

日時 9月28日(日)午前10時～午後4時  
場所 県南生涯学習センター  
講師 中村順子さん(「コミュニティ・サポートセンター神戸」理事長)  
定員 50人  
参加料 資料代500円  
問い合わせ NPO法人ユアアンドアイ ☎0297-62-2667 FAX 0297-62-2698 E-mail yu-and-ai@npo-ibaraki.or.jp

#### ■花と緑とリサイクル「カナダ・ローズメアのまちづくり」講演会と交流会参加者募集

「住民ひとりひとりができるまちづくりを実証した、人口1万5千人の美しい田舎町ローズメア。住民と行政が一体となって、世界でも指折りの“生活の質の高さを享受できるまち”となった極意を学びます」

日時 9月29日(月)午後3時から講演会、午後5時から交流会  
場所 つくば市老人福祉センターとよさとホール  
講師 モニック・クランジェさん(ローズメア公園課長)  
参加費 講演会500円、交流会千円  
問い合わせ 花と緑とリサイクル実行委員会 ☎029-858-0874、または029-857-9870

#### ■子育て連続講座“あなたらしい子育て”への旅参加者募集

「子育て中のお母さん、ぜひ聞いてください」  
日時 9月20日(土)午前9時半～午後零時半 第2回「“ふれあい”への旅」12月6日(土)同、第3回「“あなたらしい子育て”への旅立ち」

講師 第2回・高橋寿子さん(子どもの問題研究所主幹研究員)、第3回・ないとうきみこさん(元茨城放送アナウンサー)  
対象 第1子が3～6歳のお母さん。  
参加料 1回5千円  
問い合わせ NPO法人茨城県精神障害地域ケア研究会(☎029-244-2623)

#### ■市民セミナー「凍りついた瞳(め)」参加者募集

「児童虐待防止法の制定に影響を与えたマンガの原作者であり、『親になるほどむずかしいことはない』の著者をお招きします。子育て中のお父さん、お母さんが共感を覚え、日常の子どもたちの生活に役立つような話も聞けると思います」

日時 10月4日(土)午後1時半～3時半  
場所 県総合福祉会館  
講師 椎名篤子さん(子どもの虐待防止を考えるネットワーク代表)  
参加費 一般500円(いばらき子どもの虐待防止ネットワーク“あい”会員300円)  
託児申し込み 9月26日(金)まで。1人500円

問い合わせ いばらき子どもの虐待防止ネットワーク“あい” ☎/ FAX 029-305-7690

#### ■「生きる力を育むために」講演会参加者募集

「日立市の大久保幼稚園が主催するシュタイナー教育公開講座の第6回。単純な知識によるのではなく、智慧に重きをおいた生活力を見い出してみませんか」

日時 11月5日(水)午前10時から11時半  
場所 日立市視聴覚センター大ホール  
講師 仲正雄さん(シュタイナーの治療教育家。ドイツ在住)  
参加費 500円(資料代)  
定員 30人(先着順)  
問い合わせ 大久保幼稚園 ☎0294-33-2274 FAX 0294-38-2584(10月20日締め切り)

#### ■「声のワークショップ」参加者募集

「あなたの持つ声の素晴らしい力を仲間正雄さんと一緒に見つけてみませんか」  
日時 11月5日(水)午後2時～4時  
場所 大久保幼稚園  
参加費 2千円  
定員 30人(託児可、1人600円)  
問い合わせ 前項と同じ

### ◆◆ボランティア募集◆◆

#### ■「日米コミュニティ・エクスチェンジ」インターン・ボランティア募集

「日米コミュニティ・エクスチェンジ(JUCEE)は、市民参加型の社会を作り上げるために活動するNPOです。インターン、ボランティアとして活動を支援してくれる方を募集しています。説明会日時以外でも、事務所にて説明を随時

### NPO 一日体験 レポート

このコーナーは、モニターのみなさんに、県内のNPOを一日体験していただいたレポートを掲載しています。読者の中で、体験を希望される方は、コメントまでご一報ください。



NPO法人「生活支援ネットワークこもれび」  
ひたちなか市東大島1-22-15 ☎/ FAX 029-273-8897

## 活動に共感、仲間入りを約束

人が集まれば何かができる。。「こもれび」の榎田美紀子・代表理事の言葉である。

榎田さんは、数年前まで福祉現場の一職員として働いていたが、現在の制度、そして職場という“枠”内ではできないこと、足りないことへの思いを持った数人の仲間と、平成13年に、ひたちなか市内にNPO法人を立ち上げた。

申請当時は、行政サイドの理解も少なく、相談窓口で特殊な宗教法人では、と間違われたり、啓発事業の一つとして計画した「痴呆老人がテーマ」の映画会の庁舎掲示も断られるというスタートであったという。しかし、いざ活動を始めてみると、市民ニーズの多さにビックリしているという。多種多様な要求、そして近隣市町村からのサービス希望者も多く、現在その対応に

比較的暇がある人の活動であったものが、現在は資格を活かすことができる場・気やすく参加できる活動という認識の下、若い人の参加も目立ち、活動会員は50人になったという。またこの間の活動から、市政にも変化が生まれつつあり、市民生活課が「市民活動課」に課名変更、そして制度外の相談について、「こもれび」に紹介してくるケースも多くなっているという。

榎田さんの現在の悩みは、活動が当初自分の描いていたイメージ(ゆったりとした時間、空間での援助)とかけ離れてゆくことへの戸惑いであり、将来の夢は、小さくとも全ての機能を備えている施設(福祉のコンビニ)とネットワークづくりにあるという。

総理府の調査によると、現在9割の国民が老後に不安を感じているという。これら不安解消の近道は、こもれびの榎田さんや生き生きと活動されている仲間の皆さんの活躍であり、活動の輪の広がりがある、と一人で合点し、入会とNPO起業科研修後の仲間入りを約束して失礼した。何となくうれしい一日であった。(文と写真 NPO起業科修了生の植田實さん)



苦慮している様子である。一方、活動に参加してくれる仲間も多く、開設当初は主婦を中心とした

行っています」  
説明会日時 9月19日(金)午後5～6時  
場所 JUCEE事務局(東京都文京区本郷7-2-2)  
問い合わせ 飯野さん・福岡さん ☎03-5805-3920 E-mail info@juce.org

■「情報紙12号」発送作業お手伝い募集  
茨城のNPO情報をお届けしている本紙12号を県内のNPO法人、自治体などへ発送する作業です。お茶とお菓子を用意してお待ちしています。お子さま連れの方や短時間の参加でも歓迎です。  
日時 10月10日(金)午後2時半～5時頃  
場所 コミュニティレストラントらい(水戸芸術館から徒歩5分)  
問い合わせ 茨城NPOセンター・ commons ☎029-300-4321

### ◆◆譲ってください◆◆

■ファックスを。どこでもうかがいます。  
問い合わせ 世界舞踊実行委 ☎090-6037-8136

### 五軒町 だより

(事務日誌にかえて)

### まちのどこかで



住宅やお店、事業所に混じって、少し窮屈そうに建っている学校があります。

ある日、その角の小さな花壇の前に、ちょっとうずくまり、花たちをのぞき込んでいるYシャツ姿の男性が。

私が傍を通ったために、気恥ずかしそうにその場を離れてしまいました。なんだか悪いことをしたなあ...

でも学校の皆さんが塀の外の、まちを飾ったそれをめぐる人がいることに、温かい気持ちになりました。

誰かのしたことが、知らないところで誰かの心をちょっと動かしていたりする。いつもどおり、だけど頑張ろう。私も元気をもらいました。

(絵と文 草間 多佳子)

### 本紙常備 施設・お店

水戸芸術館(水戸市五軒町 ☎029-227-8111) 水戸カトリック教会(水戸市五軒町 ☎029-221-3976) ギャラリー「街かど美術館」(大子町大子 ☎02957-2-0708) 自然食レストラン「パンブキン」(北茨城市磯原 ☎0293-42-1818) 常陸太田市生涯学習センター(同市中城 ☎0294-72-8888) カフェ「ピアノッシモ」(水戸市河和田 ☎029-255-3777) 自然食品「イーハトーブの森」(水戸市石川 ☎029-254-3752) こどもとおとなの学校「恵藍舎」(水戸市元吉田 ☎029-246-9689) 県水戸生涯学習センター(水戸市愛宕 ☎029-228-1313) 交流サルーンいばらき(水戸市三の丸三の丸庁舎 ☎029-302-2160) 水戸市国際交流協会(同市備前町 ☎029-221-1800) 水戸市福祉ボランティア会館(同市赤塚 ☎029-309-4141) まちの駅みと(水戸市南町東京電力茨城支店内 ☎029-302-3100) 菜食カフェレストラン「Ritz'n(リッツン)」(つくば市上原 ☎029-856-0009) つくば市民活動センター(同市吾妻 ☎029-855-1171) 鹿嶋市立中央図書館(同市宮中 ☎0299-83-2510) 龍ヶ崎市市民活動センター(同市 ☎0297-63-0030) 守谷市民活動支援センター(同市野木 ☎0297-46-3370) 下館市立図書館(同市下岡崎 ☎0926-24-3530) 県西生涯学習センター(下館市野殿 ☎0296-24-1151) 県南生涯学習センター(土浦市大和町 ☎029-826-1101) 県立図書館(水戸市三の丸 ☎029-221-5569) 水戸市立中央図書館(水戸市大町 ☎029-226-3951) ※無料配布しています